

【誌上発表】

<2022年度>		
星野高志：回復期片麻痺患者の病棟内杖歩行自立の客観的指標による判定基準 一決定木分析を用いた検討～、The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 59(8),836-846,2022	理学療法士	
星野高志：歩行自立に向けた多職種連携の取り組み、理学療法ジャーナル；56(11): 1281-1289, 2022	理学療法士	
河野純子：肺炎患者の嚥和ケアにおける理学療法士の役割、理学療法；39(5)：419-425,2022	理学療法士	
河野純子：分からないと言える勇氣と誇り、理学療法ジャーナル；56(8)：881, 2022	理学療法士	
保田祥代：7.神経筋疾患に対する舌尖掌上訓練のコツ、臨床リハ31(5):400-405,2022	言語聴覚士	
保田祥代：8.神経筋疾患に対する頭部回旋のコツ、臨床リハ31(6):498-503,2022	言語聴覚士	
保田祥代：9.高齢者の誤嚥性肺炎に対する舌背掌上訓練のコツ、臨床リハ31(7):732-737,2022	言語聴覚士	
竹内千尋：10.COPOを合併した誤嚥性肺炎に対する呼吸訓練のコツ、臨床リハ31(8):,2022	言語聴覚士	
保田祥代：11.誤嚥部がんに対する咀嚼訓練のコツ、臨床リハ31(9),2022	言語聴覚士	
保田祥代：12.誤嚥部がんに対する前舌保持嚥下訓練のコツ、臨床リハ31(10),2022	言語聴覚士	
保田祥代：13.認知症に対する食支援のコツ、臨床リハ31(11),2022	言語聴覚士	
保田祥代：14.終末期に対する食支援のコツ、臨床リハ31(12),2022	言語聴覚士	
<2023年度>		
岡部宗祐：高次脳機能障害患者に行ったmodifiedCI療法での工夫、要知作業療法 31(1)：17-22, 2023	作業療法士	
Takashi Hoshino：Recovery of autonomic dysfunction assessed by heart rate variability after acute stroke: an observational、International Journal of Therapy and Rehabilitation 30(6)：1-11, 2023	理学療法士	
監修：小口和代，編著：保田祥代：摂食嚥下訓練の基本を動画でひとつとつやさしく学ぶ本、医歯薬出版株式会社	言語聴覚士	
森 真実也：摂食嚥下機能評価としてのスプーン誘発嚥下テストの考案、総合リハビリテーション 51(11)：1229-1233, 2023	言語聴覚士	
<2024年度>		
丸山綾那：多職種連携強化に向けた高浜豊田病院の取り組み、日本慢性期医療協会誌 JMC 32 (2) 44-47, 2024	理学療法士	
保田祥代：摂食嚥下機能評価-スクリーニングから臨床研究まで 一反復嚥液嚥下テスト、Jornal of CLINICAL REHABILITATION 33(10), 983-986, 2024	言語聴覚士	
<2025年度>		
なし		

【学会発表】

<2022年度>			
演題名	職種	主演者	発表学会
橋背遠位嚥骨折術後のリハ期間とAO分類・浮腫・関節可動域の関係	作業療法士	後藤進一郎	第34回日本ハンドセラピー学会
特別支援学校との連携事業の効果と今後の課題	理学療法士	仲村我花奈	第30回愛知県理学療法学会学術集
当院における短時間通所リハビリテーションの特徴	作業療法士	佐々木里菜	第30回愛知県作業療法学会学術集会
高次脳機能障害患者に行った入院中のmodified CI療法の自宅での効果の持続	作業療法士	岡部宗祐	第30回愛知県作業療法学会学術集会
開心術後患者における遠退院時の6分間歩行距離に影響を与える因子の検討	理学療法士	西脇一誠	第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
電気式人工喫煙の使用を経て気管カニューレ抜去に至った1症例	言語聴覚士	山口紀美子	第16回愛知県言語聴覚士会学術集会
回復期リハビリテーション病棟における肥満患者に対する多職種チームの栄養介入後の変化	言語聴覚士	前田さやか	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
臨床倫理カンファレンスにおける療法の役割	言語聴覚士	保田祥代	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
橋背遠位嚥骨折術後のリハビリテーション頻度と浮腫・ROM・期間の検討	作業療法士	後藤進一郎	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
回復期片麻痺患者の病棟内杖歩行自立判定における客観的指標 一決定木分析を用いた検討～	理学療法士	星野高志	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
集中リハビリテーションにより呼吸機能が改善した慢性期頸髄損傷の一例	理学療法士	伊藤正典	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
当院の地域包括ケア病床の患者特性と疾患別リハビリテーション実施状況	理学療法士	田中元規	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
当院地域包括ケア病床における患者特性 一歩行能力と退床先に着目して～	理学療法士	相馬孝広	第8回地域包括ケア病棟研究大会
地域包括ケア病床における疾患別リハビリテーションと代替リハビリテーションの比較	作業療法士	太田有人	第8回地域包括ケア病棟研究大会
若年性脳血管障害に対するmodified CI療法の実践と効果	作業療法士	清水雅裕	第56回日本作業療法学会学術集会
脳卒中ドライバーのスクリーニング評価と注意機能検査（TMT-J、SDMT）の関連性の検討	作業療法士	渡邉郁人	第56回日本作業療法学会学術集会
脳幹梗塞と頸髄損傷の合併により重度嚥下障害を呈した一症例 一急性期から在宅までの関わりを通して～	言語聴覚士	桐木文咲	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
摂食嚥下機能評価としてのスプーン誘発嚥下テストの検討① 一急性期病院内での試行～	言語聴覚士	大竹綾香	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
摂食嚥下機能評価としてのスプーン誘発嚥下テストの検討② 一介護保険施設での試行～	言語聴覚士	保田祥代	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
回復期片麻痺患者病棟内歩行自立時に用いるMini-BESTtestの有効性の検討	理学療法士	伊藤正典	第20回日本神経理学療法学会学術大会
回復期片麻痺患者の病棟内杖歩行自立の決定木による判定基準 一外的妥当性の検証～	理学療法士	星野高志	第20回日本神経理学療法学会学術大会
ストーム閉鎖に伴い栄養状態が改善し杖なし歩行が自立した大腿切断の一症例	理学療法士	植松大喜	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
肺血栓塞栓症予防に向けた当院の取り組み	理学療法士	山口裕一	第17回医療の質安全学会学術集
ICU入室患者における補助循環装置装着患者に対するリハビリテーション介入の検討	理学療法士	高津志歩	第50回日本集中治療医学会学術集会
摂食不良に対し経鼻経管栄養併用で栄養強化した嚥下機能良好な症例	言語聴覚士	前田さやか	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会
回復期脳卒中片麻痺患者の歩行自立後の転倒 一決定木分析によるグループごとの特徴～	理学療法士	星野高志	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会

<2023年度>			
演題名	職種	主演者	発表学会
中指・環指PIP関節屈曲拘縮重症例に対する創外固定を用いた治療経験	作業療法士	寺澤幸洋	第35回日本ハンドセラピー学会学術大会
当院ICU・救命救急病棟患者の特徴とリハビリテーション実施状況	理学療法士	杉戸真	第31回愛知県理学療法学術大会
ドライブシミュレータによる自動車運転転評価を実施した1症例	作業療法士	大塚淳花	第31回愛知県作業療法士学会
医療療養病床における摂食嚥下リハビリテーションの実態① ～帰結調査～	言語聴覚士	保田祥代	第24回日本言語聴覚学会
脳幹梗塞と頸髄損傷の合併により重度嚥下障害を呈した一症例～第2報～	言語聴覚士	桐木文咲	第24回日本言語聴覚学会
医療療養病床における摂食嚥下リハビリテーションの実態② ～最期まで経口摂取を継続した1症例～	言語聴覚士	尾崎菜穂	第24回日本言語聴覚学会
当院(療養型病院)の地域包括ケア病床におけるサブアキュート患者の現状と課題	理学療法士	田中元規	第25回日本医療マネジメント学会学術総会
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の隔離期間中における対応～認知関連行動アセスメント（CBA）を活用して～	言語聴覚士	保田祥代	第24回日本言語聴覚学会
高度急性期病院における早期退院支援への療法の関わり	理学療法士	小川 真	第25回日本医療マネジメント学会学術総会
ICU重症患者の理学療法開始基準の検討 一異定分類と転帰による検討～	理学療法士	河野純子	第60回リハビリテーション医学会学術集会
短時間通所リハビリテーションにおける歩数計モニタリングの活用について ～5症例の検討～	作業療法士	大橋知広	第60回リハビリテーション医学会学術集会
窒息と誤嚥性肺炎を発症した若年頸髄損傷の一例	言語聴覚士	福岡麻緒	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
回復期病棟再入院により胃瘻を離脱した心臓血管外科術後の気管切開症例	言語聴覚士	山口裕	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
当院において嚥下訓練を実施した気管切開患者の嚥結①-抜去群と非抜去群の比較～	言語聴覚士	保田祥代	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
当院において嚥下訓練を実施した気管切開患者の嚥結②-非抜去群の経過～	言語聴覚士	保田祥代	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
高齢者窒息事例の発生要因の検討	言語聴覚士	近藤知子	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
片麻痺患者の歩行自立時におけるMini-BEST-testの特徴～歩行状況別の検討～	理学療法士	伊藤正典	第21回日本神経理学療法学会学術大会
回復期片麻痺患者の歩行自立の予後予測と検証 一決定木分析による検討～	理学療法士	星野高志	第21回日本神経理学療法学会学術大会
療法士によるインシデント報告数を増やす取り組み	理学療法士	山口裕一	第64回全日本病院学会
当院の医療療養・特定疾患病床における入院患者およびリハビリテーション患者の特徴	理学療法士	丸山綾那	第31回日本慢性期医療学会
体重増加により歩行能力が低下した成人脳性麻痺に対する訪問リハビリでの関わり	理学療法士	仲村我花奈	第10回日本小児理学療法学術大会
生活行為向上マネジメントの興味関心チェックリストで目標が具体化した訪問リハビリの一症例	作業療法士	日比健一	リハビリテーション・ケア合同研究大会
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延下における誤嚥性肺炎患者の実態	言語聴覚士	保田祥代	第7回リハビリテーション医学会秋季学術集会
意識調査からみるMTDLPを用いた要知県山谷市の訪問型サービスCの現状と課題	作業療法士	宗像沙千子	第57回日本作業療法学会
当院における地域包括ケア病床患者の認知機能の特徴	作業療法士	太田有人	第57回日本作業療法学会
橋背遠位嚥骨折術後の男女別DASH項目の比較	作業療法士	後藤進一郎	第57回日本作業療法学会
右上1/4同名半盲が神経心理学検査とドライブシミュレーター評価に与える影響（1症例報告）	作業療法士	清水雅裕	第57回日本作業療法学会
多職種協働で支援した隔離解除直後に自宅退院した一例	理学療法士	浅井崇	第34回全国介護老人保健施設大会
当院における医療安全推進の取り組み 一私の部署の改善策～	理学療法士	山口裕一	第18回医療の質・安全学会学術集会
急性期病院における院内窒息事例の対応策	言語聴覚士	近藤知子	第47回日本摂食嚥下医学会学術講演会

<2024年度>			
演題名	職種	主演者	発表学会
訪問リハビリテーションにより「ゴミ捨ての自立」を達成した独居片麻痺の一例	理学療法士	春日井 万穂	第24回日本訪問リハビリテーション協会学術大会
当院の心臓血管外科術後の理学療法経過と遅延要因の検討～ガイドラインとの比較～	理学療法士	高津志歩	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会
介護予防・日常生活支援総合事業で生活行為向上マネジメントを使用し大相撲観戦できた一症例	作業療法士	宗像沙千子	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会
回復期リハビリテーション病棟におけるST対象患者の実態 ～重症者割合引き上げ前後の比較～	言語聴覚士	保田祥代	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会
回復期リハビリテーション病棟における直近4年間の入院患者属性と実績の変化	理学療法士	星野高志	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会
回復期リハビリテーション病棟における移乗未自立者のベッド周囲での転倒 ～起立動作能力と認知機能からの分析～	理学療法士	鈴木孝人	第61回日本リハビリテーション医学会学術集会
特別支援学校（肢体不自由）における外部専門家としての取り組み～小児版K T B（ランスタチャート）を活用して～	言語聴覚士	保田祥代	第25回日本言語聴覚学会
大腿骨近位部骨折におけるリハビリテーション情報提供効率化	理学療法士	木戸昌平	第26回日本医療マネジメント学会学術集会
コロナ流行期に発症した重度失語症者の支援について～失語症友の会参加を通して～	言語聴覚士	森文咲	第25回日本言語聴覚学会
摂食嚥下機能評価「スプーン誘発嚥下テスト（Spoon Evoked Swallowing Test：SEST）」の信頼性検証	言語聴覚士	保田祥代	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
気管カニューレの一方併用使用に難化した高次脳機能障害例	言語聴覚士	尾崎菜穂	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
発症後2年以上の経過で気管カニューレ・胃瘻離脱できたギラン・バレー症候群の1例	言語聴覚士	前田さやか	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
大腿骨近位部骨折術後患者における転倒リスクに関連する各種因子についての検討～二次性骨折予防を自指して～	理学療法士	木戸昌平	第12回日本運動器理学療法学術大会
Effect of modified Constraint-Induced Movement Therapy on upper extremity function after stroke: A small-scale clinical trial, retrospective research.	作業療法士	清水雅裕	第8回アジア太平洋作業療法学会
日中の排泄が自立した手指拘縮のある長期入院ギランバレー症候群の一例	作業療法士	杉浦崇代	第58回日本作業療法学会
mCI療法が意欲と活動範囲に及ぼす影響	作業療法士	高橋芳昌	日本作業療法学会
医療療養病床に非経口摂取で入院した患者の実態	言語聴覚士	保田祥代	第32回日本慢性期医療学会
肺血栓塞栓症予防 一取り組みの再構築～	理学療法士	山口裕一	第19回医療の質・安全学会学術集会
てんかん・痙攣重稿により急性期リハビリテーションを要した入院患者の嚥結	理学療法士	星野高志	STROKE 2025
人工呼吸器装着中における早期離床プロトコルの運用状況	理学療法士	杉戸真	第52回日本集中治療医学会学術集会
重症下肢リンパ浮腫に対し外来理学療法が効果的であった一症例	理学療法士	高津志歩	第13回日本がんリハビリテーション研究会

<2025年度>			
演題名	職種	主演者	発表学会
スウェイクバックを呈した多発性脳炎患者に対するトレッドミル歩行練習 ～歩行の改善が得られた一例～	理学療法士	磯貝昌孝	第33回愛知県理学療法学術大会
Outcomes of adults with symptomatic epileptic seizure in acute inpatient rehabilitation: a retrospective analysis by level of pre-admission independence	理学療法士	星野高志	World Physiotherapy Congress 2025
（入院リハビリテーションを要した症候性てんかん）重症患者の嚥結～入院前自立度別の後方視的調査～			
ALS確定診断前から介入し、早期胃瘻造設がQOL維持につながった一症例	言語聴覚士	加藤朝菜	第26回日本言語聴覚学会
心臓血管術後に重度嚥下障害を呈したマルファン症候群の一症例	言語聴覚士	良雪万葉	第26回日本言語聴覚学会
外来リハビリで経鼻経管栄養を離脱した水痘帯状疱疹ウイルスによる嚥下障害症例	言語聴覚士	保田祥代	第26回日本言語聴覚学会
当院の地域包括ケア病床におけるリハビリテーション実施状況：入床中の疾患別リハビリテーション終了とアウトカムについて -終了群と継続群の比較-	理学療法士	田中元規	第11回 地域包括ケア病棟研究大会
地域包括ケア病床における身体活動量向上の取り組み ～集団サーキットトレーニングと手首装着型活動量計を活用した一例～	理学療法士	浅井慎也	第11回地域包括ケア推進病棟研究大会
入院高齢者におけるエネルギー消費量と栄養摂取量が大腿四頭筋の筋量・質に及ぼす影響	理学療法士	浅井慎也	第79回日本体力医学会学術大会
脳卒中による摂食嚥下障害の嚥結 ～発症約5年後の実態調査～	言語聴覚士	保田祥代	第31回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
法人内における医療安全管理者連携	理学療法士	山口裕一	第66回 全日本病院学会
地域包括ケア病床における疾患別リハビリテーション終了後の支援と機能・活動の推移 -2症例の後方視的検討-	理学療法士	近藤良希夫	第12回日本地域理学療法学会学術大会
介護予防通所リハビリテーション長期利用者の身体機能と活動・参加 -12カ月の経時的変化-	理学療法士	新美大登	第12回日本地域理学療法学会学術大会
介護老人保健施設入所中の歩行自立者における離床と夜間睡眠の特徴	理学療法士	浅井崇	第9回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
地域包括ケア病棟における集団サーキットトレーニングの身体活動量への影響 ～メッツによる分析～	理学療法士	浅井慎也	第41回東海北陸理学療法学術大会
地域包括ケア病棟における集団サーキットトレーニングが離床時間に与える影響	理学療法士	植松大喜	第33回日本慢性期医療学会
肺血栓塞栓症リスク評価の電子化による運用改善と今後の課題	理学療法士	山口裕一	第20回医療の質・安全学会学術集会
通所リハビリテーション利用者の防災対策の現状と個別支援の課題	作業療法士	渡邉由美子	第24回東海北陸作業療法学会／第33回愛知県作業療法学会
通所リハビリテーションから就労継続支援B型事業所につなげた脳出血利用者の1例	作業療法士	諏訪下知紗	第24回東海北陸作業療法学会／第33回愛知県作業療法学会
本人と家族の意向が異なる中で多職種連携により不安軽減を図り自宅退院に至った一例	作業療法士	佐藤光晃	第24回東海北陸作業療法学会／第33回愛知県作業療法学会
不全頸髄損傷患者に対して自助具検討により食事動作が獲得できた回復期症例	作業療法士	太田大樹	第24回東海北陸作業療法学会／第33回愛知県作業療法学会
発症4年経過後に低頻度の口ボット歩行訓練を実施しADLが改善した重度嚥下出血患者の一症例	理学療法士	小川真	第2回日本生活期リハビリテーション医学会学術集会
当院回復期リハビリテーション病棟における身体的拘束の実態について	理学療法士	伊藤正典	回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子
重度嚥下障害を呈した気管瘻の一例	言語聴覚士	近藤知子	第49回日本嚥下医学会・学術集会
当院ICUの早期離床・リハビリテーション加算と疾患別リハビリテーションに関する運用変更とその効果	理学療法士	杉戸真	第53回日本集中治療医学会学術集会
意思決定が困難な患者の胃瘻造設における倫理的シナリオ-臨時カンファレンスで対応した一症例～	言語聴覚士	保田祥代	日本臨床倫理学会 第13回年次大会